

ご芳志者名及び維持会費納入者名

平成29年度（平成29年10月31日現在）

（五十音順、敬称略）

Table listing donors and their names, organized by industry (e.g., 寄附者名, 医学科後援会員, 企業等) and then alphabetically. Includes names like 石松隆志, 尾崎正若, 宮家隆次, etc.

編集後記

肥後医育ニューズレター二十二号をお届けします。特別企画として「熊本地震と医療・教育現場の被災状況」をとりあげました。震災から一年半が経ち、が「地域の医療現場の復興には、まだまだ多くの課題が残されている」と感じています。
「肥後医育振興会に期待する」項では、喜雄先生、医学部学部長の尾田雄一先生から教育・研究についての力強い抱負と本振興会との更なる連携のお言葉をいただきました。ただ近年、医学部卒業生の研修先のマッチングでは、熊本大学で研修する割合が全国で、その中で満足する数値ではありませんが、附属病院を卒業生にとつて魅力ある大学として、卒業生に目指していただきたいと願っております。
「新病院長紹介」では、本財団の常任理事としてご尽力いただきました大牟田天頌病院の興相博次先生、熊本の基幹病院として、国立病院機構熊本医療センターの高橋毅先生、済生会熊本病院の中尾浩一先生、熊本赤十字病院の平田稔彦先生、熊本市医師会立病院の裕紀洋至先生、菊池郡市医師会の猪俣豊永哲至先生から、熊本市の健康と若手医師の育成を担う病院として、力強い抱負を語っていただきました。また、くまもと森都総合病院の理事長・院長の藤山重俊先生からは、リニューアルされた施設のご紹介をいただきました。循環器内科学分野の辻田賢一教授、泌尿器科・内科学分野の折田頼尚教授、熊本大学保健センターの折田頼尚教授から、本大学で教育・臨床への意気込みのお言葉をいただきました。すすことを祈念いたします。
その他、例年通りの一年間の活動報告（肥後医育塾、総合生活情報紙「あれんじ」、熊本県医療人育成総合協議会等）、また、医学研究会助成や医学研究会・外国人留学生奨学金等への助成、各学会への支援状況、医学部附属病院総合臨床研修センターの活動状況など、盛りだくさんなものの活動を、熊本ニューズレターの編集に協力いただきました。各先生方、維持会費納入委員の皆様、ご芳志を頂きました方々、また多大なご寄付を頂きました方々、清療法研究所、高橋酒造に感謝いたします。
常任理事（広報担当） 木原 信市